

	<h1>大和田小だより</h1>	めざす学校像 子供の自己有用感を向上させ、主体的・協働的な学びを大切にする学校 ～すべての子を大和田小の光に～	4月の生活目標
開校明治七年 開校149年目	学校教育目標 かしこく やさしく がんばる子	4月号 令和5年4月10日 新座市立大和田小学校 児童数 780名・学級数 27学級	明るいあいさつをしよう ○4つの言葉を大切に ・はい ・ありがとう ・おはよう ・ごめんなさい
大和田小は新座の始めの学校。来年度開校150周年です。			

卯月 一期一会 出会いを大切に

校長 近藤 章宏

春の日差しと花々の香りにつつまれ、令和5年度が始まりました。本年度は新入学1年生101名を迎え、全校児童780名でスタートいたします。

始業式前の4月6日に、進級して最高学年となった新6年生が新年度の準備作業を手伝ってくれました。新年度の教室の児童数の増減に合わせて机を移動したり、新1年生の教室を整備したり、くつ箱や廊下、体育館の掃除をしたりするなど、一生懸命に働いてくれ、入学式の準備もしっかりとできました。

しばらく友達と会ってなかった子もいるのでしよう、楽しそうな雰囲気であると共に、1年生を迎えることのできる喜びを感じました。今年も6年生がリーダーシップを発揮して、大和田小学校を引っ張ってくれるものと期待しております。



4/6の準備登校

開校149年目の「柳瀬学校・野火止学校」

本校は明治7年7月9日に、現在も新座柳瀬高校の手前にある普光明寺の境内に「柳瀬学校」、野火止上組字窪に「野火止学校」という名称で開校いたしました。明治5年に太政官令による「学制」が發布され全国各地で学校を設置する準備が始まりました。当時は現在の中学校や高等学校を設置するまでの見通しはまだなく、地域の子供たちが「学び」を得る場、即ち小学校を作らなければならない、という思いに日本全国が沸き上っていたようです。近隣市や全国的に見ましても明治近代小学校の多くは、学制發布後2年経過した明治7年頃の開校が多いようです。当時の状況を想像するに明治政府や県等からの財政的な支援の全くない状況

の中で、学校を作り上げることは相当のご苦労があったものと推察いたします。そこには学校を作り上げたいという地域の強い願いを感じ取ることができます。学校という学びの場を通して、各家庭の子供達がこれからの社会に役立つ人材として育成できるという確固たる信念があったのではないのでしょうか。その後本校は「共進学校」、「大和田第一尋常小学校」「大和田小学校」と名前を変え歴史を刻んでまいりました。来年度本校は大きな節目の150周年を迎えます。保護者、地域の皆様とともに歴史と伝統を感じ、子供たちに本校の誇りを感じられる取り組みを進めてまいりたいと存じます。

アフターコロナの学校生活

過去3年間、コロナ感染症対策のもとの学校生活が続いてきました。この間子供たちはもとよりご家庭の不安感は相当なものであったことと思います。また私たち教職員もできる限りの対策を講じながら、教育活動を継続してまいりました。ようやくその収束が見え始めました。マスク着用で代表される対応も基本的には不要となります。引き続き換気や手洗いの指導は行ってまいります。始業式でも学校でのマスクは必要ないことを伝えました。長く続いたマスク生活で子供たちもまだ不安感を感じていることでしょう。少しずつ顔の見える学校生活と、豊かな教育活動を取り戻してまいります。

着任の御挨拶

前任の坂口智校長の後を引き継ぎ、大和田小学校第27代校長を拝命した近藤章宏と申します。私は以前本校で勤務した経緯があります。当時は現在の校舎が落成した直後でありましたが、明治以来の伝統校の通り、保護者や地域の皆様からの手厚い支援に驚いたことと、とてもありがたく感じました。再び本校教職員の一員となれたことに喜びを覚えるところで、本年度も保護者・地域の皆様からのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。